

みどりの風

2015.1.1

-NO.196-

発行 社会福祉法人 悠朋会

相模原市中央区千代田2・4・1

千代田デイサービスセンター 042・751・0672

ヘルパーステーション千代田 042・704・0261

千代田介護支援センター 042・704・0281

千代田相談支援センター 042・707・1434

2015年 良い年にして いきましょう。



私たちが大切にしたいもの

介護事業は人と人との関係の中で営まれ、よい関係の中でこそ発展します。

社会福祉法人悠朋会の活動に関わる全てのスタッフがこのことの大切さを認識し、責任を持ってサービスを提供するために、ここに私たちの思いを表明します。

1. 私たちは、利用者を固有の歴史を持った個人として尊重し、あらゆる意味でその命と人生に敬意を持って接します。
2. 私たちは、利用者の主体性と可能性を信じ、サービスを通して多くの力と個性が発揮できるよう支援します。
3. 私たちは、利用者が安心感と自信を持ってサービスを利用できるよう、援助者としての暖かさと誠実さを大切にします。
4. 私たちは、職務上知り得た利用者の情報やプライバシーを尊重し、専門職としての秘密保持に責任を負います。
5. 私たちは、利用者に対しいかなる差別も行わず、また、身体的、精神的な暴力、虐待及び拘束を行いません。
6. 私たちは、専門性を持った援助者としての研鑽に努めるとともに、苦情に対して誠実に受け止め良心と責任を持って対処します。
7. 私たちは、事業を通して地域福祉の課題を捉え、誰もが必要なときに必要な支援が受けられる地域社会の実現に努力します。
8. 私たちは、この事業の社会的な責任を鑑み、情報の公開に積極的に取り組むと共に事業の健全な運営と継続に努めます。

人・ひと日記

小林 功

衆議院選挙が終わり、低投票率が話題となりました。投票を棄権することは、「無関心」「なまけもの」と言われてきたように感じますが、政治に関心があっても投票する相手、政党が無い場合投票しないことを意思表示と考える人もいると思われます。先の大阪市長の「大義無き解散選挙」の時は一部メディアが「白票」の多さを指摘しました。開票速報には表れてきませんがこの票数を公表すれば投票所に向かう人が増えるのではないかと思います。結果として民意の動向が今より明確になり、選挙の質も上がるのではないかと、と思いました。

元氣なうちにやっておきたいことのひとつが「ベートーベンの第九を生で聴く」ことでしたが実現しました。十二月七日、相模原市民会館で東京フィルのコンサートがありました。（歩いて行ける会場で何と贅沢な・・・）素晴らしい演奏会でした。この感動をデイの利用者にもと鑑賞会を開きました。昨年のNHK交響楽団のコンサート（合唱）を鑑賞しました。当初は皆さんがクラシック音楽を聴きに來てくれるだろうかと不安がありましたが職員のPRもあり、大勢の方に鑑賞していただきました。大編成の楽団と合唱隊、指揮者の動き、そして曲の素晴らしさ・・・終わった後の皆さんの晴れ晴れとした表情に音楽の力を感じました。

遅ればせながら千代田にも「フォーチュンクッキー」がやってきました。デイチームとヘルパーチームの2ユニットがそれぞれ忘年会でデビュー。この元気で今年を締めくくり、来年も良い一年にしていきたいと思います。みなさん良いお年を。

デイサービス



千代田デイサービスセンターは、今年も元旦からお出迎えです。元旦は餅つき、2日は獅子舞、3日から初詣に出掛けます。
『親切な職員と美味しい食事』をモットーに、笑顔の絶えないデイサービスを目指しています。
今後どうぞ宜しく願います。

ケアマネのつづやき



現在5名のケアマネジャーで担当しています。
『頼りになるケアマネジャー』を合言葉に、スタッフ一同笑顔でお伺いします。お困りのことがありましたらお気軽にご相談下さい。

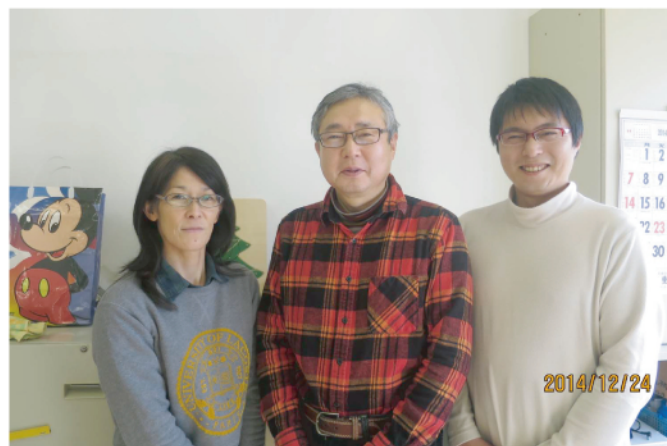
(上の段右から)

管理者	志村	章子
	森本	美穂
	三澤	富士子

(下の段)

富田	俊介
日高	明夫

相談支援



平成25年4月より、総合支援法の相談支援を行なっています。職員は3名で、兼務という形になっています。今後もお困りのことがございましたら、お気軽にご連絡下さい。

(中央)	管理者
(左)	相談支援専門員
(右)	相談支援専門員

菊地	歳光
渡辺	真由美
日高	明夫

こんにちは、千代田のヘルパーです！



こんにちは、千代田のヘルパーです。
毎月定例でヘルパー連絡会を18日に開催しています。定例の連絡事項とヘルパーさんに関わる研修など二時間の連絡会です。12月は例年通りヘルパーさんの慰労を兼ねた忘年会を開催いたしました。今年の忘年会のサプライズは理事長リーダーの”千代田AKB”です。笑いあり、驚嘆あり、うなずきあり、一部にはキモイの声も聞かれましたが楽しい一時を過ごすことができました。

サプライズはAKB48の”恋するフォーチュンクッキー”。
この日に向けて、理事長の号令のもと、一ヶ月間毎日踊りの練習を積み重ね、カラオケボックスでも練習しました。もちろん衣装もそろえてあります。皆自信を持って踊りながら楽しんでいます。この曲のキャッチコピーは”恋チュン踊れば、嫌なことも忘れられる”ですが、踊っているメンバーのみならず皆様にとっても素敵な忘年の場になっていれば幸いです。



ゲームも盛り沢山です。菜箸で小豆を取り分ける「豆取りゲーム」、目をつぶって片足で立つ時間を競う「片足立ち」、万歩計ゲーム、早口言葉等々。早口言葉は「ブラジル人のミラクルピラ配り」です。これを三回繰り返します。皆さまも是非お試しください。

楽しい一時はあっという間に過ぎて行きます。最後は勝手に”恋するフォーチュンクッキー”のアンコールで幕をひきました。ヘルパーステーション千代田の団結力を感じた一時でもありました。

今年も一年間大変お世話になりました。新年も宜しくお願いたします。皆様もお体にお気をつけて新年をお迎えください。



おてんば娘

赤川 静子

私はね、大正十二年に九州の宮崎で生まれたの。兄弟は六人いて、兄が二人と姉、弟が一人。父は国鉄の職員をしていて、母は駅前で旅館を営んでね、家族みんなで手伝ったわ。私は一番上のお兄ちゃんが大好きで、どこへ行くにも後をついていったのよ。今では私、背中が丸くなってしまったけれど、女学校時代は背が高い方で、太ももの所がキュッとしぼれたブルマを穿いて、バレーボールの前衛の選手をやっていたの。また、当時は着物やもんぺを着るのが当たり前の時代だったけど、いつも洋服を着ていたの、ハイカラなおてんば娘。女学校では剣舞もやっていて、慰問のために色々な場所に行ったわね。勉強もきちんとやって、タイプライターも覚えたの。文武両道だったわ。当時はパソコンなんてないから、和文タイプライターというもので、かなや漢字が小さく並んでいるものだったのよ。

県庁に勤めていた兄は当時日本の統治下にあった台湾の郡役所へ出向になってしまった



和文タイプライター



女学校時代（左上）

のよね。私は大好きなお兄ちゃんの傍にいたくて、追っかけていつちゃったわ。タイプライターを習ってたおかげでむこうに行っても仕事はあったわ。でも炊事・洗濯はあんまり出来なくてお兄ちゃんにしてみればいい迷惑だったかもね。時代は太平洋戦争が始まる時期で、台湾もこのままでは危ないということになってとりあえずこっちに帰ってきたの。戻ってきてからは、遊んでいると軍役につかなくてはいけなかったから、軍病院の庶務課に勤めたわ。でも本当はそれだけではなくて秘密にしていたことがあるの。うちの旅館も当時四人の将校さんが下宿しててね、その中の一人が後の私の主人なのよ。彼は戦地に赴かなくてならなくなり寂しくなったけど、主人の友達が教えてくれたの。軍の病院だったら手紙のやり取りを手伝ってくれるって。作戦は上手くいって何度も手紙のやりとりをしたわ。その後彼が昭和十九年に日本に戻ってきたので結婚式を挙げたのよ。すぐに子供を授かってその翌年終戦の年に長男を産んだの。その後の話はね、またの機会があればしましょうね。



赤川さんご主人

1月の予定

ディサービス

餅つき	1日(木)
獅子舞	2日(金)
初詣ドライブ	3日(土)～9日(金)
体重測定	4日(日)～10日(土)
折り紙	15日(木)
ビュッフェ	18日(日)
シナプソロジー	19日(月)
素人カラオケ大会	21日(水)
誕生会	25日(日)～31日(土)
交流会	28日(水)、30日(金)



編集後記

忘年会シーズンも終わり、やっと肝臓が落ち着いてきました。飲み会の前には必ず『ウコンの力』を服用し、二日酔いありませんでした。年末年始はビールを控える心構えですが、はてさてどうでしょう。元気に新年を迎えましょう！
H